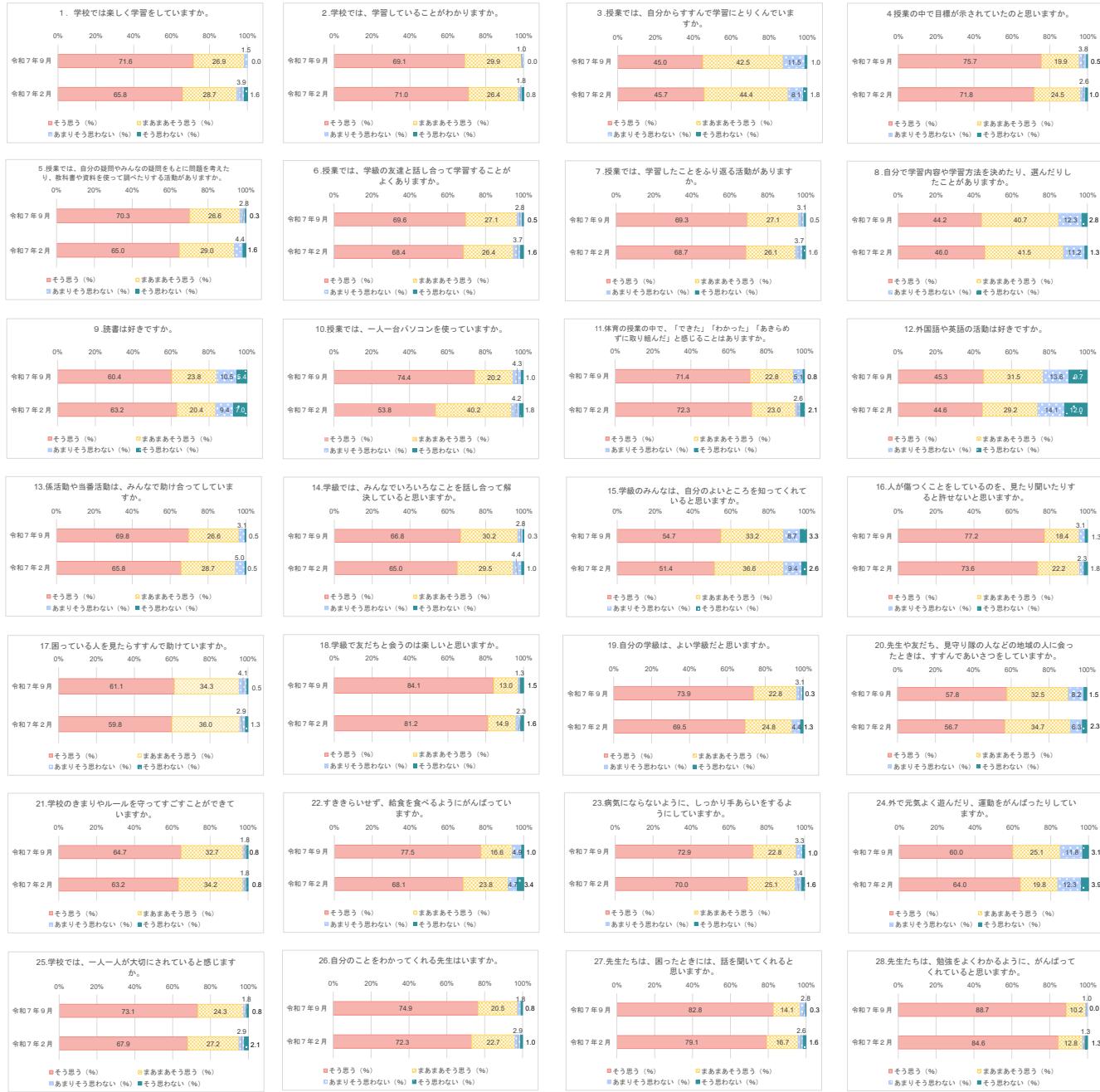


## 令和7年度「学校生活アンケート(児童用)中間」の集計結果について【全学年】

大阪市立野田小学校

9月に実施した「学校生活アンケート(児童用)中間」の集計結果をお知らせします。調査結果は学校の活性化に役立てていくとともに、結果から見えてきたことを、今後の教育活動に生かしてまいります。(※ 令和7年9月調査の回答総数は391人です。)



## 【分析と今後の取組み】

## ◆学習について

98.5%の子どもが「1.学校では楽しく学習している」と感じています。「1.学校では楽しく学習している」「5.授業では、自分のぎもんやみんなのぎもんをもとに問題を考えたり、教科書や資料をつかって調べたりする活動がある」「6.授業では、学級の友だちと話し合って学習することがよくある」の項目では、いずれも95%以上の肯定的回答があり、昨年度より伸びが見られました。また、「10.授業では、1人1台パソコンを使っている」の項目では、最も肯定的に回答した子どもの割合が昨年度より20.6ポイント上回りました。さらに、99.0%の子どもが「28.先生たちは、勉強がよくわかるように、がんばってくれていると思う」と回答しています。本校では、1人1台学習者用端末や大型モニターなどICT機器のさらなる充実を図っています。今後も学習活動を工夫したり1人1台学習用端末等を活用したりするなど、子どもたちにとって達成感や充実感を感じができる授業づくりに日々取り組んでいます。

## ◆生活について

96.4%の子どもが「13.係活動や当番活動は、みんなで助け合っている」、96.9%の子どもが「14.学級では、みんなでいろいろなことを話し合って解決していると思う」の項目で肯定的に回答しており、子どもたちが学級で協力しながら生活しているようすがうかがえます。また、97.4%の子どもが「21.学校のきまりやルールをまもってすごすことができている」と感じており、子どもの規範意識の高さが見てとれます。「20.先生や友だち、見守り隊の人などの地域の人会ったときは、すんでいいさつをしている」では、90.3%の子どもが肯定的に回答しています。今後もより多くの子どもが進んで気持ちのよいいいさつができるよう指導を継続します。「22.すきらいせず給食を食べるようがんばっている」では94.1%の肯定的回答があり、昨年度より伸びが見られました。今後も生涯にわたって健康的な食習慣を身に付けるよう取組みを進めています。

## ◆友達関係について

「18.学校で、友だちと会うのは楽しい」「16.人が傷つくことをしているのを見たり聞いたりすると許せない」「17.こまっている人を見たら、すんで助けている」の項目で95%以上の子どもが肯定的に回答しています。本校では、「いのち・いじめについて考える週間」を年間3回設定するなど、友達との関係を見つめ直す機会を設けることで「いじめ防止」の意識を高めるよう取り組んでいます。今後も引き続き、思いやりあふれる学校づくりを進めています。

## ◆学校生活全般について

96.7%の子どもが「19.自分の学級は、よい学級だと思う」、97.4%の子どもが「25.学校では一人一人が大切にされていると感じる」と回答しており、昨年度より肯定的回答の伸びが見られました。子どもたちが概ね落ち着いた学校生活を送っている様子がうかがえます。また、95.4%の子どもが「26.自分のことをわかってくれる先生はいる」、96.9%の子どもが「27.先生たちは、こまったときは、話を聞いてくれると思う」と感じています。今後とも、子どもたちの良さを伸ばし、一人一人に寄り添いながら、子どもの笑顔あふれる学校づくりに取り組んでまいります。本校の教育活動にさらなるお力添えをお願いいたします。